



2024年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年6月14日

上場会社名 株式会社バリューゴルフ 上場取引所 東
コード番号 3931 URL <https://corp.valuegolf.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 水口 通夫
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 専務執行役員 (氏名) 渡辺 和昭 (TEL) 03-6435-1535
四半期報告書提出予定日 2023年6月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無（ ）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年1月期第1四半期の連結業績（2023年2月1日～2023年4月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年1月期第1四半期	866	△20.7	12	△85.8	10	△85.2	0	△98.2
2023年1月期第1四半期	1,092	—	87	74.2	69	67.6	42	121.4

(注) 包括利益 2024年1月期第1四半期 △1百万円 (—%) 2023年1月期第1四半期 42百万円 (118.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年1月期第1四半期	0.43	—
2023年1月期第1四半期	23.70	—

(注) 1 2023年1月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用しております。比較対象となる会計処理方法が異なることから、2023年1月期第1四半期の売上高の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年1月期第1四半期	2,771	1,139	41.0
2023年1月期	2,508	1,176	46.8

(参考) 自己資本 2024年1月期第1四半期 1,136百万円 2023年1月期 1,173百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年1月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2024年1月期	—	—	—	—	—
2024年1月期（予想）	—	0.00	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年1月期の連結業績予想（2023年2月1日～2024年1月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,800	8.0	300	26.4	290	38.4	200	74.2	110.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年1月期1Q	1,807,000株	2023年1月期	1,807,000株
② 期末自己株式数	2024年1月期1Q	191株	2023年1月期	191株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年1月期1Q	1,806,809株	2023年1月期1Q	1,806,809株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2023年2月1日～2023年4月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症(以下、COVID-19)の落ち着きと共に行動制限も段階的に緩和され、旅行及び外食に対する個人消費が緩やかに持ち直す等、社会経済活動の正常化が徐々に進みました。一方で、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化や原材料・資源価格の高騰、世界的なインフレ加速と米国をはじめとする主要各国での金融引締め、急激なドル高円安による輸入価格の上昇等により日本経済は先行き不透明な状況となっております。

ゴルフ事業を取り巻く環境におきましては、ゴルフ場利用者数の前年同月比が2月5.0%増、3月3.1%増となりました(経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」)。2月、3月は全国的に月降水量が少なく月平均気温も高かったため、利用者数も堅調に推移いたしました。社会経済活動の正常化により大人数でのイベント企画やコンペ等の団体客の予約もCOVID-19感染拡大前の状況に戻りつつあります。

トラベル事業を取り巻く環境におきましては、国際線定期便がCOVID-19感染拡大前の6割まで運航便数が戻ったこともあり、訪日外客数は3月が1,817千人(2019年同月比34.2%減)、4月が1,949千人(2019年同月比33.4%減)と回復傾向が続きました。また、出国日本人数も3月が694千人(2019年同月比64%減)、4月が560千人(2019年同月比66.4%減)と徐々に回復している傾向が見られます(日本政府観光局「JNTO」)。2023年3月31日に新たな観光立国推進基本計画が閣議決定されたことで、観光立国の復活に向けて、インバウンドや地方誘致、消費拡大施策が促進されると期待されます。

このような経営環境の下、当社グループは各事業において、新規案件獲得やサービス品質の向上といった売上高の拡大及び収益力の強化を進めることで、企業価値の向上を目指してまいりました。当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高866,192千円(前年同期比20.7%減)、営業利益12,500千円(前年同期比85.8%減)、経常利益10,246千円(前年同期比85.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益783千円(前年同期比98.2%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(ゴルフ事業)

ゴルフ事業におきましては、ASPサービス『1人予約ランド』の会員数が引き続き堅調に推移し、2023年4月30日時点では97.0万人(前年同期比11.6%増)となりました。100万人の大台突破も目前となり、引き続き多くのユーザーから支持されるサービスとなるよう更なる成長を続けてまいります。その一環として、2023年3月14日に株式会社ゴルフダイジェスト・オンライン(以下、株GDO)との1人予約サービスにおける業務提携基本契約を締結いたしました。今夏を目途に両社の1人予約サービスにおける予約状況等の情報を相互連携いたします。これにより、当社及び株GDOいずれかの1人予約サービスを利用しているゴルフ場の予約が可能となるため、ゴルファーはこれまで以上に多くのゴルフ場から選択できるようになります。さらに、それぞれのサービスから同一のスタート枠への予約が可能となることにより、人数不足により不成立となる枠が減り、ゴルファーのプレー機会が増加します。また、ゴルフ場が使用する管理画面は当社の『1人予約ランド』に一本化することになり、オペレーション負荷の軽減といった効果が見込まれ、今後更なる会員数の増加、サービス規模拡大の加速が期待されます。

ECサービスにおきましては、昨年からの円安の影響を受け海外クラブの輸入価格が高止まりしており、販売単価が上昇していることから売上高の確保に苦戦いたしました。クラブを除くボールや小物の売上高は前年同期を上回っているため、今後はクラブの販売戦略の転換を図ってまいります。日本クラブの取り扱い割合を増加させる他、輸入クラブへの依存率を下げることで為替リスクに対応してまいります。また、引き続き利益率の高いプライベートブランド商品を拡充することで収益を確保してまいります。

レッスンサービスにおきましては、バリューゴルフ大崎をモデルとした新業態店舗の多店舗展開第一弾として、2023年3月に『ジーパーズゴルフクラブ浦安 by ValueGolf』をオープンいたしました。幹線道路沿いの店舗敷地内に12台の駐車場を完備しており、激安ゴルフショップ『ジーパーズ』、最新シミュレーターを備えた6打席のレンジ、クラフト工房が併設され、500本以上の最新試打クラブを取り揃えた大型店舗となっております。これらクラブが自由に試打できることに加え、プロによるインドアレッスンが受けられる他、工房では人気のスリーブ付きシャフトやグリップ交換、ライ角、ロフト調整等の細かなオーダーについて専門のクラフトマンにすぐに相談できる点が好評となっています。開店に際して費用を投下した結果、当第一四半期に係るゴルフ事業の経営成績を一時的に押し下げることとなりましたが、インドアレッスン会員数、ゴルフ用品の売上ともに計画を上回るペースで推移しており、投資額については早期の回収が見込めるものと考えております。

以上の結果、売上高785,577千円(前年同期比22.0%減)、営業利益107,919千円(前年同期比40.1%減)となりました。

(トラベル事業)

トラベル事業におきましては、社会経済活動の正常化に伴い街に人の往来が戻り、国内外への旅行需要も増加しました。インバウンドの団体ツアーや企業の実習生の渡航手配などはCOVID-19感染拡大前の9割程度まで回復しました。しかし、海外航空券の手配業務については国際線定期便が6割程度の運航便数のため、大幅な回復には至りませんでした。今後、夏や年末に向けて、更に旅行需要が増加すると見込んで、新たな旅行商材を準備いたしました。

以上の結果、売上高73,918千円(前年同期比2.4%減)、営業利益3,452千円(前年同期は営業損失58千円)となりました。

(その他の事業)

その他の事業セグメントにおきましては、広告メディア制作事業におけるメインクライアントであるブライダル業界にて、結婚式場の来館者数がCOVID-19感染拡大前の8割程度まで回復してまいりました。カップルのニーズも20名程度の小規模開催から40~50名の中規模開催へ移行しつつあります。これにより結婚式場の売上も増加傾向にあり、広告掲載依頼数も堅調な推移をしております。

以上の結果、売上高8,890千円(前年同期比19.1%減)、営業利益3,872千円(前年同期比8.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比較して262,941千円増加し、2,771,318千円となりました。これは主に売掛金の増加30,922千円、商品の増加164,774千円及び旅行前払金の減少850千円によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して300,203千円増加し、1,632,190千円となりました。これは主に買掛金の増加13,230千円、短期借入金の増加350,000千円及び旅行前受金の増加9,072千円によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して37,262千円減少し1,139,127千円となりました。これは主に配当金の支払いによる利益剰余金の減少36,136千円及び親会社株主に帰属する四半期純利益783千円の計上による利益剰余金の減少35,353千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの2024年1月期通期連結業績予想につきましては、2023年3月14日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

当第1四半期累計期間における業績は、『ジーパーズゴルフクラブ浦安 by ValueGolf』の新規開店による一時的な費用の発生、ECサービスにおける輸入ゴルフクラブの販売不振等の影響を受けたものの、第2四半期以降はゴルフ事業における(株)GDOとの業務提携による『1人予約ランド』の業績拡大及びトラベル事業における今後の外的な経営環境の改善による売上高の回復が見込まれる他、『ジーパーズゴルフクラブ浦安 by ValueGolf』の業績は計画以上に推移しており費用の早期回収が見込まれることから、通期の業績は現時点では達成可能と判断しております。

なお、本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,159,772	1,152,154
売掛金	240,771	271,694
商品	784,117	948,891
旅行前払金	51,531	50,680
その他	61,535	116,816
貸倒引当金	△26	△27
流動資産合計	2,297,701	2,540,210
固定資産		
有形固定資産	35,603	59,502
無形固定資産		
その他	16,981	19,587
無形固定資産合計	16,981	19,587
投資その他の資産		
その他	201,020	194,768
貸倒引当金	△42,930	△42,751
投資その他の資産合計	158,090	152,017
固定資産合計	210,675	231,107
資産合計	2,508,376	2,771,318
負債の部		
流動負債		
買掛金	182,387	195,617
未払法人税等	32,007	7,625
短期借入金	650,000	1,000,000
1年内返済予定の長期借入金	43,758	31,783
旅行前受金	90,789	99,861
その他	167,260	129,081
流動負債合計	1,166,204	1,463,969
固定負債		
長期借入金	138,448	136,911
資産除去債務	27,334	31,310
固定負債合計	165,782	168,221
負債合計	1,331,986	1,632,190
純資産の部		
株主資本		
資本金	382,328	382,328
資本剰余金	374,819	374,819
利益剰余金	415,484	380,130
自己株式	△338	△338
株主資本合計	1,172,294	1,136,941
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,695	△213
その他の包括利益累計額合計	1,695	△213
新株予約権	2,400	2,400
純資産合計	1,176,390	1,139,127
負債純資産合計	2,508,376	2,771,318

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年2月1日 至 2022年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年4月30日)
売上高	1,092,188	866,192
売上原価	701,671	547,917
売上総利益	390,516	318,275
販売費及び一般管理費	302,559	305,774
営業利益	87,957	12,500
営業外収益		
受取利息及び配当金	99	70
貸貸収入	153	153
受取補償金	2,500	—
受取手数料	78	213
その他	175	104
営業外収益合計	3,007	542
営業外費用		
支払利息	1,622	1,732
貸倒引当金繰入額	6,303	—
支払手数料	727	248
為替差損	12,792	661
その他	176	153
営業外費用合計	21,622	2,796
経常利益	69,342	10,246
税金等調整前四半期純利益	69,342	10,246
法人税、住民税及び事業税	16,666	5,480
法人税等調整額	9,859	3,983
法人税等合計	26,526	9,463
四半期純利益	42,816	783
親会社株主に帰属する四半期純利益	42,816	783

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年2月1日 至 2022年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年4月30日)
四半期純利益	42,816	783
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△31	△1,909
その他の包括利益合計	△31	△1,909
四半期包括利益	42,785	△1,126
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	42,785	△1,126

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年2月1日 至 2022年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ゴルフ事業	トラベル 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,006,816	75,731	1,082,548	9,640	1,092,188	—	1,092,188
セグメント間の内部売上高又は振替高	127	—	127	1,350	1,477	△1,477	—
計	1,006,943	75,731	1,082,675	10,990	1,093,665	△1,477	1,092,188
セグメント利益又は損失 (△)	180,086	△58	180,028	4,239	184,267	△96,310	87,957

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告メディア制作事業を含めております。

2. セグメント利益又は損失の調整額△96,310千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年2月1日 至 2023年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ゴルフ事業	トラベル 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	785,577	73,412	858,990	7,202	866,192	—	866,192
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	506	506	1,687	2,194	△2,194	—
計	785,577	73,918	859,496	8,890	868,387	△2,194	866,192
セグメント利益	107,919	3,452	111,372	3,872	115,244	△102,744	12,500

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告メディア制作事業を含めております。

2. セグメント利益の調整額△102,744千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。